

レンガ計算 ルール

【基本ルール】

- ・準備 壁の1番上の段のレンガ・左右のはじの半分のレンガに数字を入れる。
- ・スタート 隣り合った2つのレンガの数字を計算し、答えを一つ下の段にあるレンガ（2つの間にあるレンガ）に書き込む。
- ・ゴール 一番下の段のレンガまで書き込めたら終了。

【A. たし算】（1・2年 3年以上もタイムアタックとして応用可）

- ① 一番上の段、左右のはじの半分のレンガに1～9の数字をランダムに入れる。
- ② 一番上の段のとなり同士のレンガの数をたす。
- ③ 答えを一つ下の段にある間のレンガに書く。答えが10以上の場合は、一の位の数字を書く。（例：16 ⇒ 6）
- ④ 以降、②③を繰り返し、一番下の段のレンガまで書き込めたら終了。

【B. ひき算】（1・2年 3年以上もタイムアタックとして応用可）

- ① Aの①と同じ。
- ② 1番上の段のとなり同士のレンガで、「左のレンガ」の数から「右のレンガ」の数を引く計算をする。引けない場合は、「左のレンガ」の数に10を足した数から引き算をする。（例：4－9 ⇒ 14－9）
- ③ 答えを一つ下の段にある間のレンガに書く。
- ④ Aの④と同じ。

【C. かけ算】（2・3年 4年以上もタイムアタックとして応用可）

- ① Aの①と同じ。
 - ② 1番上の段のとなり同士のレンガの数をかける。
 - ③ Aの③と同じ。
 - ④ Aの④と同じ。
- ★『5』は、かけ算をすると答えの一の位が5or0になるので、最初に入れる数字には使わず、他の数字を2回書く方が楽しい。
- ★同様に、不得意な段の数字を複数書くのも可。

【応用】

- ★慣れてきたら、時間を計って『昨日の自分の記録』に挑戦！